

【資料3】

令和元年1月 日

府中市長 高野 律雄 様

府中市環境審議会
会 長 金子 弥生

第2次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域
推進計画中間見直し後の進捗状況について（答申案）

令和元年10月31日付31府生環第511号で諮問のありました標
記の件について、当府中市環境審議会の意見は、別紙のとおりです。

1 第2次府中市環境基本計画（環境行動指針）の進捗状況について

平成26年度を初年度とする第2次府中市環境基本計画につきましては、平成26年度から平成29年度の進捗状況を本審議会に報告いただき、概ね順調に進捗しているとの判断をいたしました。

平成30年度の進捗状況におきましては、審議の結果、概ね順調に進捗しているものの、一部の環境行動指針、個別目標の見直しが必要であると判断いたしました。これは、上位計画である第6次府中市総合計画後期基本計画との整合性を図ること、および環境行動指針と目標の整合性を図ることによるものです。

今後の取組みといたしまして、市の施策の取組に係る評価と、市民の満足度等が連動していない目標につきましては、進捗状況や社会情勢の変化とともに、これらが基本方針や個別目標の達成に則するものであるか否かをご検討いただくことを要望いたします。

また、各目標に対する進捗状況をはかる指標につきましては、過去の指標も併記しながら、実態に即した指標の導入をご検討いただくことを要望いたします。

2 府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について

府中市地球温暖化対策地域推進計画（以下、「本計画」と言います。）につきましては、平成29年1月に中間見直しを行っております。

中間見直しにおいては、6つの重点プロジェクトに基づき、その各プロジェクトの中から「モニタリングメニュー」としての指標を選定し、毎年市民アンケートなどで進行管理を行うこととしており、省エネ行動の取組率等は有効な指標として活用されるべきものと考えております。

平成30年度の進捗状況におきましては、前年に指摘のあった設問の相違について改善されていることが確認できます。アンケートの内容及び手法については、原則、毎年同一の方法で実施することにより、適正な進行管理が行われるべきものと考えますので、重点プロジェクト等を確実に推進していくためにも、引き続き市政世論調査を活用し進捗管理を行うよう求めます。

指標の数値につきましては、ほとんどの項目で目標に向けて上昇しておりますが、最終年度の目標値を達成するためには、本計画における施策がより確実に推進される必要があることから、格別のご配慮をお願いします。